

平成 28 年 9 月 9 日
保 育 課 長

麻しん（はしか）の発生について（第 2 報）

平成 28 年 9 月 9 日（金）、尼崎市保健所から次のとおり記者発表を行いましたので、保護者の皆様にお知らせします。

昨日、市内における麻しんの発生についてお知らせしましたが、その後、新たに 3 名の麻しん患者が確認され、現時点で計 11 名となっております。

3 名の内訳は 4 歳女児 2 名及び 65 歳女性で、発熱・発疹等の症状を示しましたが重症化せず、全員快方に向かっています。

市民の皆さまには、改めて次の事項について注意していただきますようお願いします。

- 1 発熱や発疹など麻しんを疑う症状が現れた場合は、速やかに医療機関を受診するようにしてください。その際は、事前に医療機関に電話し、麻しん疑いであることを伝え、指示に従い受診するようにしてください。
- 2 麻しんの予防にはワクチン接種が有効であることから定期予防接種の対象者は確実に 2 回受けるようにしてください。

平成 28 年 9 月 9 日

保護者の皆様へ

麻しん（はしか）の感染にご注意ください。

市内保育施設における麻しん（はしか）の発症については、保護者の皆様に多大なご不安やご心配をおかけしているところですが、現在尼崎市ではその感染拡大の防止のために全力で取り組んでいるところです。

特に、保育所は乳幼児が集団で長時間生活する場であり、感染症の集団での発症や流行を早期に防ぐことが大切です。また、麻しんは感染から発症までの潜伏期間が長く、また感染力も大変強いため、徹底した対策が必要です。

つきましては、保護者の皆さまにおかれましては児童の体調の変化等に常に御留意いただくとともに、感染予防及び感染拡大の防止のため、次のような対応についてのご協力をお願いいたします。

1 麻しんを疑う症状が出たとき

麻しんを疑う主な症状は次のようなものです。児童にこのような症状が現れたら、保育所にその旨ご連絡いただき一旦登園は控えるとともに、速やかに医療機関を受診するようにしてください。ただしその際は、事前にかかりつけ医に電話で相談し、下記症状があることを伝え受診するようにしてください。

- (1) 37.5℃以上の高熱、咳、鼻水がでる。
- (2) まぶたが腫れる。目やにがたくさんでる。
- (3) 顔面や首から全身に赤い斑点があらわれる。

※これらの症状が見られなくても、普段の生活の中で、児童の体調に変化が見られたら速やかに医師にご相談をしてください。

2 診察後の対応

医療機関の診断結果については必ず保育所にご連絡いただくとともに、診断の結果に応じそれぞれ次のとおりの対応をお願いいたします。

(1) 診断結果が出るまで

医療機関の診察を受けても、診断結果がわかるまでに数日かかることがあります。それまでの期間は、自宅での保育をお願いいたします。

(2) 麻しんと診断された場合、

症状が回復し他への感染の可能性がなくなるまで引き続き自宅での保育をお願いします。なお、保育所への登所は、医師の診断を受け登所許可書を記入してもらってから登所となります。（※登所のめやすは、解熱後3日を経過してからです）

(3) 麻しんと診断されなかった場合

発熱等、登所に支障のある症状がなければ、通常どおり登所させてください。

3 連絡・相談先について、

麻しん感染のことについて、わからないことやご不安なことがありましたらご利用

の保育所のほか、ご遠慮なく次のとおりお問い合わせください。

(1) 尼崎市保健所

○感染症対策担当

TEL 06-4869-3008 / FAX 06-4869-3049

(2) 業務時間外・夜間の緊急連絡（取次）先

○市役所コールセンター

TEL06-6375-5639

(平日 17:30～19:00/土日祝日 9:00～17:00)

○市役所夜間専用番号

TEL06-6489-6900

(平日 19:00～/土日祝日 17:00～)

以 上

麻しん（はしか）についてのQ&A

Q. 予防方法は？

A. 麻しん（はしか）は、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防できません。麻しんワクチンの接種が有効な予防方法です。

Q. 麻しんワクチンの接種は、何歳でも受けた方が良いのですか？

A. 定期接種の対象年齢の方々（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）は、積極的勧奨の対象ですが、定期接種の時期にない方で、「麻しんにかかったことがなく、ワクチンを1回も受けたことのない人」は、かかりつけの医師にご相談ください。

Q. 麻しんワクチンの接種をすれば、直ぐに効くのですか？

A. ワクチンの接種をしてから、血中内に抗体ができるに4週間程度かかります。

Q. 麻しん（はしか）かどうか心配です。直ぐにかかりつけの病院に受診すれば良いですか。

A. 発熱、発疹等の麻しんを疑う症状が現れた場合は、医療機関に直ぐ受診するのではなく、事前に医療機関に電話で相談し、麻しん疑いであることを伝え受診するようにしてください。